

スーパースプリント

激速タイムでコースをかつ飛び!



総合トップ3はすべてがカプチーノ。2位は#91 大石敏行選手。3位は#86 安西信承選手。



スーパースプリントオープンクラスに参戦し、総合優勝に輝いたBoroCappu工房と#88村田選手。AD50のSタイヤを履き、タービンはRHF5(ブースト1.4)のモンスターマシン。0.1秒前半のタイムを叩き出し全体のファステストラップを樹立した。



大注目のマシンがこれ! #89中井 宏一郎のEUROU Racing ALTO。ユーローの新作エアロを装着するだけでなく、エンジンには旧規格用のK6Aをフルチューン。排気量アップ3連スロットルキャブ仕様で、NAエンジンながらなんと0.05秒台を叩き出した。

●スーパースプリント決勝結果

順位	セク	クラス	ドライバー	車種	ベストタイム
1	88	オープン	BoroCappu工房	カプチーノ	1'01.011
2	91	オープン	大石 敏行	カプチーノ	1'01.965
3	86	ターボ	安西 信承	カプチーノ	1'03.122
4	89	オープン	中井 宏一郎	EUROU Racing ALTO	1'05.428
5	87	NA	Kuu33	HONDA BEAT	1'08.935
6	85	ターボ	フユウ	ミニカ ダンガン4	1'12.299
7	113	ターボ	こむ	セルボモード	1'15.877
8	110	NA	荒川 美恵子	アルトエボ	1'18.767

NA660スプリント

接近戦のレースに大興奮!

東北660選手権の車両規則を用いて全国統一レギュレーションで開催されたNA660スプリント。結果的には悪童-ni選手が独走の1位でチェックが振られたが、白地に赤のストライプの入った池田邦光選手のアルトバンがここでも驚異的な速さを見せていたことは事実。予選中のエンジントラブルがなければ、また違った結果になっていたであろう。そのほかの注目ポイントはミニカの出走。エッセやアルト全盛のなか堂々のクラス1位に輝いた!



レースはオープニングラップから#60悪童-ni選手が2位#63平田選手をも引き離す展開。



レースを制したのは、#61のアルトを駆る悪童-ni選手。3クラス仕様ながら見事な優勝。



#64テクニカ藤山と#65ナビック吉田のチーローノーズ合戦にスバ西浦がドツと湧いた。



序盤~中盤にかけての中間はまさに大接近戦。4位をかけたの熱い走行が続いた。



トップに1歩及ばずの2位は#63MC平田選手。この日はメインMCを務める大活躍!



#107アルトバン、K-プロジェクト選手が3位。東北660で鍛えたレース感が芽え出る。



孤軍奮闘のミニカで出走する#60よこっち27選手。同2クラスのミニカ、エッセ相手に何と優勝!

●NA660スプリント決勝結果

順位	セク	クラス	ドライバー	車種	ベストタイム
1	61	660-3	悪童-ni	アルト	1'10.432
2	63	660-3	MC平田	アルト	1'11.132
3	107	660-3	K-プロジェクト	アルト	1'11.627
4	99	660-1	田中 勇弥	ミラジーノ	1'11.000
5	81	660-1	北井 洋介	エッセ	1'11.163
6	62	660-3	原口 知行	マツダ キャロル	1'11.799
7	64	660-3	藤山 雅美	テクニカモーターズアルト	1'12.696
8	65	660-4	吉田 謙一	ミライース	1'12.856
9	100	660-3	ねこが重い	エッセカスタム	1'11.946
10	60	660-2	よこっち27	ミニカ	1'14.081
11	59	660-2	和仁 健造	アルトバン	1'14.277
12	58	660-2	とっぴりん	エッセ	1'14.921



軽トラスプリント

いままで見ぬ異様な光景が新鮮!

この日のイチバンの盛り上がりだったのが軽トラスプリント。軽トラがレースをする姿が大勢のギャラリーにとっては普段見ぬ光景。思わず大声で声援が飛び出すほど、コースのいたるところで複数台による接近戦が演じられる展開になり、まさに手に汗握るレースとなった。これを目の当たりにすると、軽トラがカッコいいスポーツカーに見えるから不思議。



手に汗握るレース展開を見せたのは#93赤堀エブリイと#92GTCPポルトンターキャリーの2位争い。「箱」でも軽トラと良いバトルができ楽しかったです」とは順位を死守した赤堀選手。マシンはスズボサにきて、ATR-Kスポーツを履く。



オープンクラスにエントリーして見事総合優勝を飾ったのは#98のぶのぶ輪乗選手。ファイターエンジンアリングのフルボア加工エンジンを搭載し、RHF3(A/R7)タービンをブースト1.5でブンまわしている。制動は、スズボのN1CPUにeマネージをセット。足は、アラゴスタにハイパ(コ)をおこなう本格仕様。タイヤはネオバAD0814インチ、LSDはカプチーノ用でマフラーはワンオフ。



トップ争い以外にもいるので大バトルが展開。軽トラ&180X入り乱れのレースが新鮮!

●軽トラスプリント決勝結果

順位	セク	クラス	ドライバー	車種	ベストタイム
1	98	オープン	のぶのぶ輪乗	キャリー	1'12.443
2	93	ターボ	赤堀 康裕	エブリイ	1'14.733
3	92	ターボ	しまじろう	キャリー	1'14.662
6	97	オープン	ネコまんま	ミニキャブ	1'14.835
7	95	NA	Yイチ	ミニキャブトラック	1'20.961
8	94	ターボ	内藤 治巳	エブリイゴン	1'21.559
9	118	NA	りす山商店	キャリー	1'23.220
10	102	オープン	黒崎 泉	ハイゼット	1'21.867
11	96	NA	コル注	ミニキャブトラック	1'23.346
12	108	オープン	TAKU	キャリー	1'23.835

コペントロフィー

ワンメイクならではの一体感!

コペンのワンメイクレース「コペントロフィー」は、ここスバ西浦でもその人気が健在。予定されていたフルグリッドの20台ものエントリーを集めた。コペントロフィーのなかには東海勢のユーザーも多く、ホームコースとばかりに意気揚々なアツい走りがコース上で見られた。優勝はお馴染みのホウシュウ選手。ここでもキツリ強さを披露する結果となった。



#71の館さまコペン選手は参加者中最年長の61歳。大勢のファミリーを引き連れて参戦!



決勝の優勝争いは予選ボールの#78ホウシュウ選手と#75金コベ選手の一騎打ち。パワーで上回る金コベが何度もホウシュウの背後に迫るも順位は変わらず。



●コペントロフィー決勝結果

順位	セク	クラス	ドライバー	ベストタイム
1	78	チューンド	ホウシュウ	1'03.984
2	75	チューンド	金コベ★も、ファク	1'04.091
3	115	チューンド	中島寿宏(賞典外)	1'04.302
4	76	チューンド	純感気味	1'04.261
5	109	チューンド	岡田 幸一	1'04.805
6	79	チューンド	金澤 延行	1'05.210
7	66	ノーマル	もりもつちゃん	1'05.725
8	73	ノーマル	高田 康太郎	1'06.266
9	70	ノーマル	anikoji	1'06.320
10	77	チューンド	ワイルド改	1'06.291
11	67	ノーマル	舜次郎	1'07.162
12	74	ノーマル	オームウェバー	1'07.504
13	68	ノーマル	morishitan	1'07.483
14	84	AT	乙三	1'07.831
15	69	ノーマル	まつたく	1'08.737
16	56	チューンド	やわらか	1'08.911
17	72	ノーマル	野々村 孝雄	1'14.464
18	71	ノーマル	館さまコペン	1'21.279
19	83	AT	ばりき	1'20.841



ATの「も、ファク参戦機」は、空気を読んだ?ノックラに出場。がしかし、カーボンLSDの威力炸裂で空気を読まずに優勝!



#76純感気味選手はスタート出遅れも、前の2台をバスター3位表彰台をゲットした。